



平成30年10月7日 秋まつり『あばれ太鼓』

重春地区まちづくりについて

重春地区代表区長 依藤 史典

重春地区は現在、和布町、高松町、板波町、平野町、谷町、和田町、高田井町の7町からなり地区の中心には重春小学校、南中学校、西脇高校、西脇工業高校などの文教地区があります。もともとは重春村という一つの共同体からスタートしており、それぞれにいろんな面でつながりが深い地域です（以前は野村町も重春地区でしたが現在独立した地区となっています）。

そのような中、各町にもそれぞれ特徴があり、たとえば南の方の地区では農地が多く、北の方は住宅商業地が多いなどの地域色があり、重春地区として簡単にひとくくりにはできない事も多く、なかなかまちづくりで共通の行事や事業を行う事は難しいのが現状です。ただ幸いなことに学校の校区が同じであることから地域内での人々の協力は比較的得やすいと思われます。そういった観点からやはりこの重春地区（本来は野村町も含めて）でのまちづくりのきっかけは、学校校区を中心に子どもに関係する事から始めるのがよいのではないのでしょうか。

具体的には、安心安全なまちづくりとして防犯カメラの設置の推進や通学路の危険な場所の改善、さらには子育て支援事業（みらいえを中心として）の推進等を通じて、文教地区としての魅力を生かしたまちづくりを進めていきたいと思えます。

この重春地区は昔からの伝統文化も多く残っている地域でもあります。古きを生かしながら時代の流れと共に新しいまちづくりに推進していかねばならないと考えます、各町それぞれにいろんな課題がありますが、7町が協力し一緒になって重春地区をもっと魅力あるまちにしていこうではありませんか。

『頼政まつり』の弓道演武

4月29日、新緑の美しい「長明寺」で恒例のまつりが開催され、西脇市民の正木さんに「頼政公」を演じて頂きました。緑の狩衣と烏帽子姿で2本の鏑矢を天空に放ち、その後に諸矢で「又工」を射めかれ、観衆から大きなよめきと拍手が会場に響き渡った。
「鏑矢」は、流鏑馬などに使用されるもので、その音によって邪気を払うとも言う。



来年の「頼政まつり」のお知らせ
平成31年4月29日は、第40回の記念として頼政公に天皇より下賜された「獅子王」の写し太刀を奉供します。
そして会場でも展示致しますので
“どうぞ期待!!”

★重春歴史ハイキングの実施★

今迄の2年間、天気が悪くて行事を中止していた「歴史ハイキング」が好天の下、10月21日（日）に実施できました。当日は、いろんな行事と重なりましたが、15名の参加をして頂きました。

平野町の「職業訓練センター駐車場」に集合して、出発前に準備体操をしてから、まず「経が芝古墳」を見学、これを見て「今迄 知らなかった！」との声あり。それから登山、「鳴尾山城」からの眺めに「西脇が良く見えるねー」と感嘆しきり。「石上神社」で、お弁当を食べて、神社を散策、岩の巨大さに「びっくり！」そして「野村城跡」から見た「矢筈山の由来」に、なるほどと、なっとく・・・西脇市駅の横にある「猪の早太墓」に“知らなかったなー”と妙に感心。

重春地区にある歴史的ないろいろな場所を巡り、秋の一日をゆっくりと楽しんだよいハイキングでした！！。



歳時記

盆踊り(高田井町)

かつて各地域で行われていた「盂蘭盆会・うらぼんえ」の一つの行事として「盆踊り」が行われていた。その年の「新仏・しんぼとけ」を迎えて、霊をなぐさめる為にみんなで踊りをおどるものであるが、現在は実施される町が少なくなった。

高田井町では、8月25日夕方5時から踊りに先立ち「阿弥陀堂」でその年の「新仏」を祀って供養をされ、午後7時より松岡神社前のグラウンドで老若男女が「盆踊り」を催行し迎えた霊を供養とされる。その詳細は「阿弥陀堂」で『地藏尊』の提灯を吊るし、菩提寺の住職さんが供養をされ、それを家族と町役員の方々が見守る様に法要が行われる。

その後グラウンドでは、中央にヤグラ設えて「太鼓を打ち」それに合わせて町民の方々が夜更けまで踊られる。また当日の朝から「矢筈山」に登り、秋葉神社の神前にて「火伏せ祈願」も行われる。



景観づくり

～美しく咲いた「コスモス」～

登校する児童達に「潤いと安らぎ」を感じて頂く“景観づくり”のコスモスが美しく咲き、くつろぎのテントの設置により、ゆっくり鑑賞して頂きました。

咲き揃った後、巡回コースも作られ、御世話いただいた方々に感謝！！感謝！！

昨年は、天候不順にて全くダメであったのが、今年は楽しんで頂いた。

このコスモスを見て、近くの園児や「子育てママ」の憩いの場所として秋の季節感を十分に楽しみ、喜んで頂きました。



重春のみどころ

平野東公園



平成2年、平野町、東の山麓に新規工場公園として「KTI」の工場建設が始まり、それに先立って工場用地の「埋蔵文化財の発掘調査」が行われた。

その際、「経ヶ芝古墳」と「3基の穴窯」が見つかり、その内の「経ヶ芝古墳」が東公園に移設復元されて現存している。

この古墳は、西脇市でも珍しい4世紀後半の「竪穴式の隅丸古墳」で葺石や2基の組立石棺もある。

他にも公園には2面の「テニスコート」も整備されて、同好の方々に楽しまれている。また「鳴尾山城」への登山口も、この一角からであり、30分位で城跡に到る。



地区の話題 太鼓屋台の新調(板波町)

板波町は、今年度に「秋祭りの太鼓台」を新しいものに更新された。9月17日、入魂神事と披露が行われ、“担ぎ初め”で喜びを分かち合った。その姿は、「深紅の角跳3枚布団」形式で、「飾り綱は金色」で実に優美である。初めて目にした町民の感想は、「きれいやねー」「うつくしい！」など・・・

その後「餅まき」があり、当日の参加された町民の方々に喜びを配られた。

秋まつり

10月6日の宵宮には、町内を巡行して、全住民の方々に優美な姿を披露した。翌日の本宮には、重国郷内、4台の太鼓屋台が勢揃いをして「宮入り」を披露した。

そして今後の「郷土発展」を期する吉兆な話題であった。



今年度の委員

- 和布町 / 山本治之氏 竹岡 昭氏 藤井直也氏
- 和田町 / 在田景侯氏 萩原和章氏
- 板波町 / 藤原孝三 (会長)
- 平野町 / 時本輝男氏 中島祐嗣氏 時本輝明氏 (会計)
- 高松町 / 浜田宣行氏
- 高田井町 / 藤原廣幸氏 (会計監査)
- 谷町 / 蔭山 昇氏

編集後記

今年は、各地で災害が多く大変な年でありましたが、重春地区まちづくり協議会では、順調に事業の推進が出来ました。広報としては、いろんな記事を集める事が出来ました。

来年度は「頼政まつりの第40回の記念」として「獅子王の奉供式」を行いますので、楽しみにして頂きたいと考えております。(文責・藤原)

